

西吾妻山 若女平スキー

杉崎 圭洋

- 山行年月日:2022年2月12日
- メンバー:杉崎圭洋
- コースタイム:天元台リフトトップ 10:30
～若女平スタート地点 11:15～若女平
登山口 13:20

天元台スキー場の Gondola とリフトを利用すると 1800m まで標高を稼げる。リフトトップから 200m ほど登れば樹氷の雪原になり少し歩くと西吾妻小屋があり若女平コースのスタート地点になる。そこから終点の若女平登山口までは標高差約 900m あり非常にコスパの良いツリーランが楽しめる。

好天に恵まれてスノーハイクのグループなども多くリフトトップからはトレースもばっちりて楽をさせてもらう。もしか展望台を過ぎると少し下りになりシールでなだらかな鞍部へ滑り下りる。そこから梵天岩に続く斜面の樹氷が青空に良く映えている。梵天岩からは西吾妻山に向かっているトレースから外れて若女平へのスタート地点へ向かう。サラサラの粉雪が風で飛ばされているのでスキーはほとんど沈まない。樹氷っぽくなった若女平のツアー標識を見つけた、さらにその先には西吾妻小屋が見える。腹も減っていないので若女平で休憩することにしてシールを剥がしてスタートする。慎重に方向を確認しながら樹林帯に入ると、30cm ぐらいのパウダーとなった。ツリースポットに注意しな

がら下りて行く。若女平はコース取りが難しく滑りやすそうな方向に突っ込んで行くと修正の斜滑降となってしまう。何回来ても正解にたどり着けずモヤモヤが残り、自分で麺の硬さやスープの濃さを選ばせるラーメン屋に似ている。今回もふらふらとベストラインを外しまくって若女平に出た。このコースは沢に突っ込んで戻れなくなる事もあるので注意したい。ここまで来ると気温も高くなり日差しも気持ち良い。時間も早いのでゆっくりコーヒータイムをとった。静かな山を楽しんでから再スタートする。ここからは雪も重くなり消化試合の様相が強くなるが、やせ尾根と杉林の急斜面も無難に通過して若女平登山口に到着した。昨日も天候がゆるんでいたのか、樹氷の迫力はいまいちの様な気がしたが、久しぶりの米沢ラーメンは期待通りだった。



ツアーコース標識